

令和6年度医療安全担当者中央交流会 参加者アンケート結果

開催日：令和6年9月14日（土）9：00～12：35

会場：千葉県看護協会 大研修室

参加者：78人

回答者：65人（回答率 83.3%）

I. 回答者について

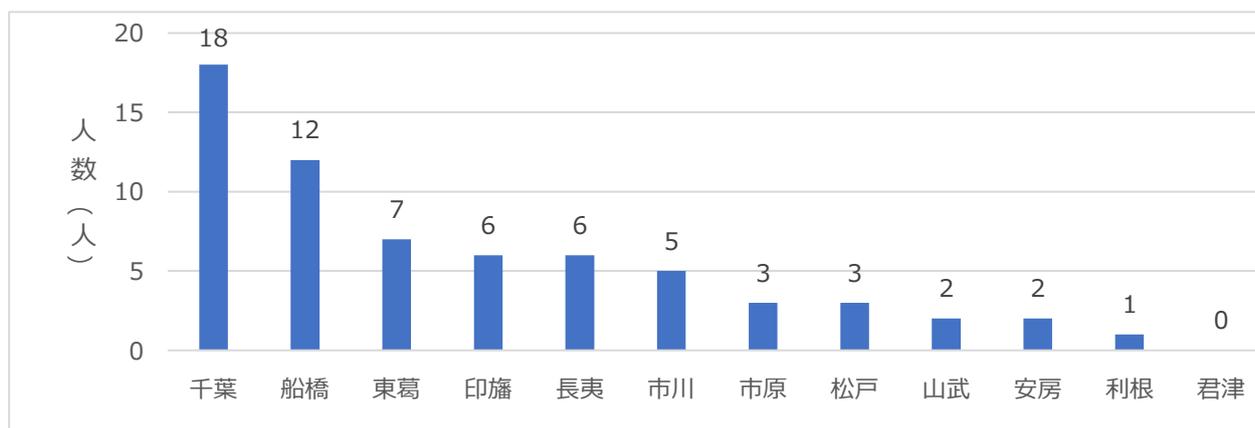


図1) 回答者の所属地域別人数 (n=65)

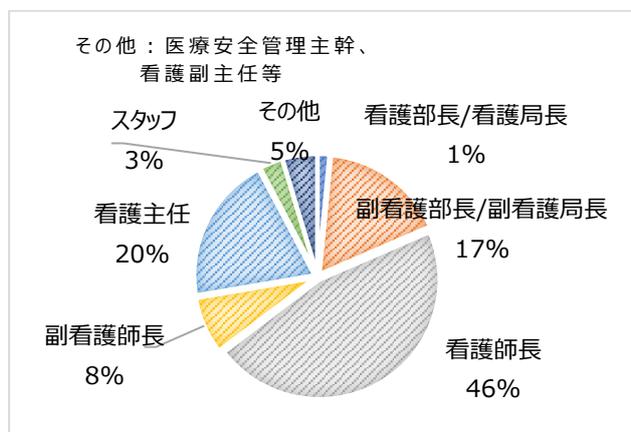


図2) 回答者の職位 (n=65)

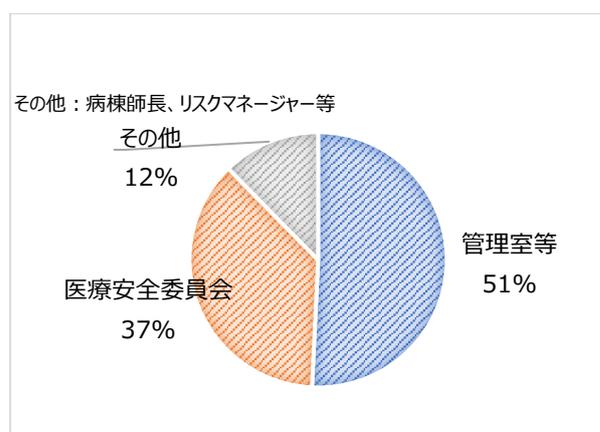


図3) 回答者の医療安全に関わる所属先 (n=65)

	医療安全管理室長	医療安全管理室副長	専従	専任	兼任	その他
医療安全管理室長						
医療安全管理室副長		3				
専従 (8割以上当該勤務に従事)	1	1	18			
専任 (5割以上当該勤務に従事)	1			11		
兼任					15	
その他						11

その他 (病棟師長 4, リスクマネージャー 1, 病棟 1, 無回答 5)

図4) 医療安全の職務(複数チェック可) (n=63:無回答2)

II. 講演について

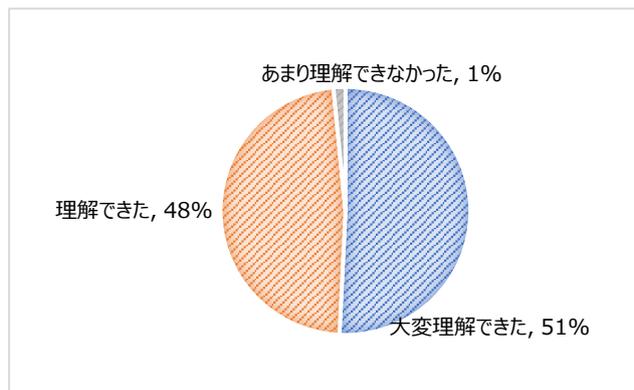


図 5) 講演の内容の理解度 (n=65)

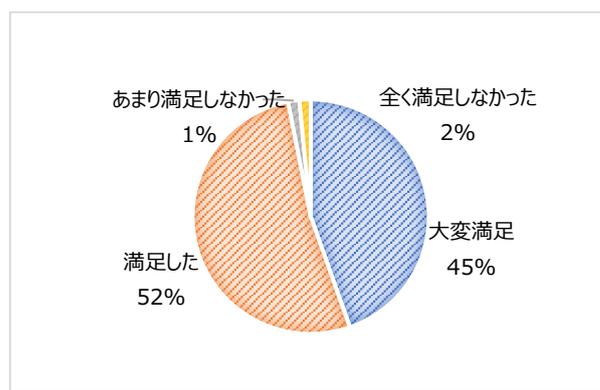


図 6) 講演の満足度 (n=65)

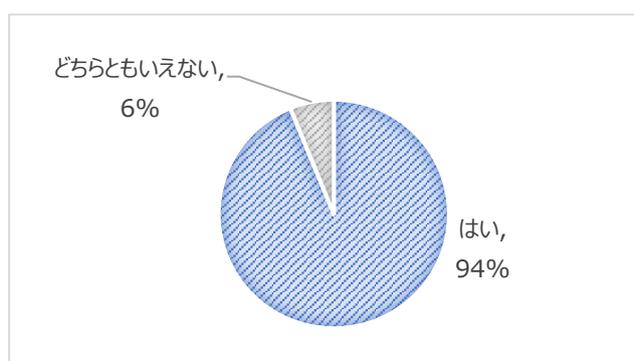


図 7) 講演を聴き自身で活かせることはあったか (n=65)

1) 上記理由について

【はい】と答えた方

1. コミュニケーション不足の背景には、権威勾配の影響がある。その点について、回りハでは多職種と関わりが多く、多忙でピリピリした病棟の雰囲気改善したいと思いました。
2. チームステップスの導入
3. チームで取り組むためには、コミュニケーションがとれるチーム作りが大切だと学びました。アサーショントレーニングなどを取り入れ、コミュニケーション力を向上させていこうと思います。
4. チームとしての心理的安心をより具体的な形として説明できるようにする。組織としてお互いがお互いを守っている、協力して成果あげている、みんなの目標を協力して達成しているなど自分達の試みの成果を共有できるようにして組織としての結びつきを強くする。この事により診断の質を向上させ、診断に至るまでの適切で安全なプロセスを作り出せるようになる事が理解出来た。
5. チーム員として、正しい診断のために医師以外の職種ができることを、実践的に理解することを想像することは難しかったのですが、コミュニケーションスキルを活用し、意見を伝えあえる職場環境にしていくためのヒントをいただくことができました。
6. まず、なによりもコミュニケーションとは、まず、もともと円滑な対話能力も必要だが、些細なことでも職種問わず、連絡、報告、相談する方からはじまることがわかった。もし、うまく伝

えられないと思ったら、その日のリーダーや、他のスタッフでもいいから、相談する人を作ることをスタッフみんなに周知してもらおう働きかけが必要だと思った。

7. メンタルモデルとは 日常、忘れがちであり相手に求めてしまっている現状がありました。医療安全管理者として他職種へのアプローチの手段に活かすことができると考えました。
8. 医師とのコミュニケーションが悪く事故に至ったケースが何度かあった。カンファレンスや研修会などを通し意見を言える環境作りなどができれば良い。
9. 医療安全は多職種で取り組むことが必要であり、連携を強化するためのツールの作成などを考えていた。講演の内容から取り組みを進める視点が整理できたため。
10. 各施設での医療安全に関する課題は所属先にも同様に当てはまる事が多く。自らのやりたい事に対して意見が聞けた。
11. 各病棟で行われている医療安全に関するカンファレンスの内容まで、把握できていなかったの
で、まずは、実際に把握するところから始めたいと思います。また、システムの中にある情報を効率的に収集する方法まで、気を配れていなかったため、情報の見落としを防ぐためのPC操作も意識していこうと、感じました。
12. 看護師は、他職種の中でもコミュニケーション能力を発揮できる チームは、同じ目標に向かう仲間 チームには、多様性を理解している受けて側が必要。そのためには、コミュニケーションスキルの活用が必要
13. 疑問などが言える環境づくりをして多職種と連携をとり患者の安全を守りたい
14. 具体的なお話もあり、共感できることが多く、とてもわかり易かったです。
15. 具体的に組みんでいく課題がみえた 同じ地区の医療安全管理者との意見交換ができた
16. 講演の内容やグループワークでの話し合いが充実していたから。
17. 講演を聴いた上でグループワークによって共通の問題を話あったり、他の病院での取り組み等を知る機会にもなり、今後院内で活動する上で大変参考になりました。
18. 講演を聞いたのちにグループワークでいろいろなご意見を聞いて話し合えてよかったです。
19. 今までに気付かなかったことに気付かされた内容だった。
20. 今までは「診断の質」は医師だけの問題だと捉えていましたが、講演を通して看護師やメディカルスタッフの専門性を活かした観察・臨床推論、カンファレンス等が含まれるということに気づくことができた。
21. 診断エラーにつながるシステム、臨床医の認知因子を看護の視点から介入出来る事を学びました。具体的には、医師を含めた多職種の連携に潜むコミュニケーション、チームワークに潜むお互いの理解、伝わり方、業務分担、タスクシフトなど、問題は山積みです。
22. 診断の質を改善するチームワークについて考えることができました。
23. 診断の質を向上するための情報共有、発信が重要。診断のプロセスは多職種の持っている情報を集約することから始まること。その情報共有をチームでどのように行っていくのか、カンファレンスと言えば聞こえは良いが、中身が問われていく。どのように伝え発信するか。受け取るか。自施設でまた共有したい。
24. 正しい診断という視点でのエラー回避に焦点を当てて考える機会がこれまであまりなかったから
25. 他の施設の人との交流ができた
26. 多職種連携、コミュニケーションの重要性を再認識しました。日頃の関係づくりに励みます。
27. 多職種連携とコミュニケーションの重要性を改めて感じた。

28. 電子カルテの活用方法や情報管理の工夫が聞けた
29. 同じようなGWを多職種でやってみようと思う。
30. 例え話の内容があるある。規模が違って悩みは同じだと感じた。看護師特有のテクニックを使い上手く医師を誘導することが円滑にコミュニケーションがとれることを学んだ。

【どちらともいえない】と答えた方

1. 世界安全のスローガンに合わせた内容であったが、日本国内では体制が違い、必要性を感じない。講義に合わせたグループワークのテーマであったが、話し合いはテーマとずれてしまうグループが大半だった。
2. 内容としてはおおよそ実施している。
3. 講義はわかりやすく、現実を頭に描きながら理解できるのですが、現実はなかなか厳しく、先生もおっしゃっていましたが、チームでカンファレンスをやるための時間はどこでどのように作るのか・・・午後の時間もあればなあと思いました。
4. 具体的などころまで落とし込めなかったから…モヤッとしている。

2) 今回の講演の感想

1. わかりやすくお話しいただきありがとうございました。
2. 身近に感じた
3. 北総病院の事例も交えて講演してくださり、興味深く聞く事ができました。
4. 同レベルの講師による講義より、今回の目的を考えて、グループワークの時間を多くした方が良い。
5. 新人問題や、様式の配置問題、現場に密接している方の講義は、共感する事が多く、どの施設も抱えてる問題は共通してると感じました。
6. 長い年月医療安全管理者を経験された講師からのお話はとても参考になりました。自身の体験からのメンタルモデルの説明はわかりやすかったです。ICUでの医師との対話の時間を設けている取り組みなど興味深く拝聴しました。
7. 診断の質について、質の改善について、チーム活動の大切さを改めて感じました。
8. 現場を思い浮かべながら講義を受け、自チームについて見直そうという気持ちになりました。講義ありがとうございました。
9. チームとしての形を学ぶ事が出来た。組織のなかでの繋がりにはしっかりとしたルールを設けてみんながルールを守る事が大切だと理解出来た。医師のコミュニケーションスキルの向上が大きな問題になるのは各施設での共通の課題であった。
10. ありがとうございました。講演を受け、グループワークを通して、何をすべきなのかヒントが得られました。
11. 年2回開催してほしい。その後どうなったか等話し合いたい。
12. 分かりやすく、とても参考になった。
13. 講演の合間に具体例を提示していただいたので、大変分かりやすかった。ありがとうございました。
14. 貴重なご講演をありがとうございました。外来での医師の発言に対しての岩井先生のご対応は、医療安全管理者として見習いたいと思いました。管理者としての自覚と責任を持っていきます。

15. メンタルモデルのお話は興味深いです。人間の特性を理解していくことも医療安全としては重要だと思ふ。
16. 北総病院は大病院なので、医療安全室も完璧で、講師の方も自分の病院とは悩みも違うかな?と
思っていたのですが、共通(共感)する部分などあり、時々ユーモアも交え楽しい時間でした。あ
りがとうございました。
17. 日頃の業務が診断の質を向上させることに貢献できていたと思えました
18. まだまだ当院は足りないことが多く、できれば兼任ではなく、専任を配置して、円滑な活動が必
要なのではないかと思つた。
19. 大変面白い講義でした。コミュニケーションエラーを防ぐために、医師と話せる機会を能動的に
作ったというエピソードなどは、コミュニケーションの手法の学びだけでなく、環境から整える
必要があると痛感しました。有難うございました。
20. とても難しいお題だったと思いますが、看護師という役割を持つ私たちが理解できるようにお話
しくださり勉強になりました。
21. 考えるきっかけになりました。もう少し深く知りたかったです。
22. 教科書的な内容だけでなく、具体的な取り組みが赤裸々に聞けて良かった
23. わかりやすく、丁寧な説明に理解しやすかったです。また岩井先生の病院での具体的な事象も興
味深く、私も自院にも引き付けて考えたり、想像したりしながら、聴かせていただきました。あ
りがとうございました。
24. 多職種とのコミュニケーションが重要であると感じた反面、時代の流れと共にコミュニケーション
の難しさについても改めて感じた。
25. とても面白く受講することができました。

3) 次回の講演への要望

1. なかかな医療安全管理の方々とお話しする機会がなく、1日研修で情報共有の時間がいただけると
他院と繋がりができてうれしいです。
2. 医療安全専従になる予定なので、是非その立場の方の講義も伺いたいです。
3. 医療安全に真摯に取り組んでいる医師からの話を聞きたいです。
4. おひとり様安全管理者に向けた安全活動(特にラウンド)のヒントや創意工夫されていることを
お聞きしたい。
5. 心理的安全性について、実践的な内容のご講演をお聞きしたいです。
6. この研修に講演は必要ない。講演者を決めてからテーマを依頼するのはおかしい。
7. チーム医療を効果的に行う為の手法や実例
8. 世界患者安全の日になんだ内容であることを希望します
9. カスハラについてご講義いただきたいです。

III.グループワークについて

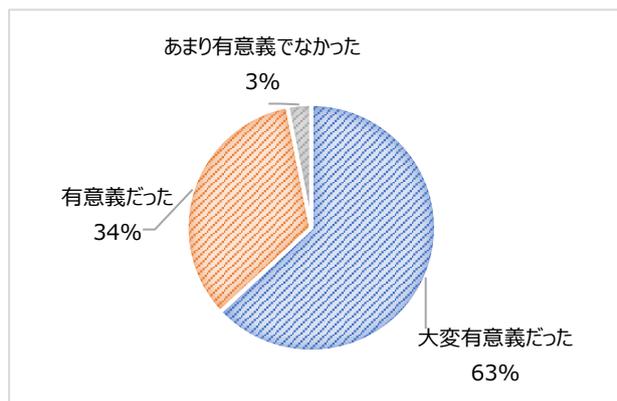


図 9) GW は有意義だったか (n=65)

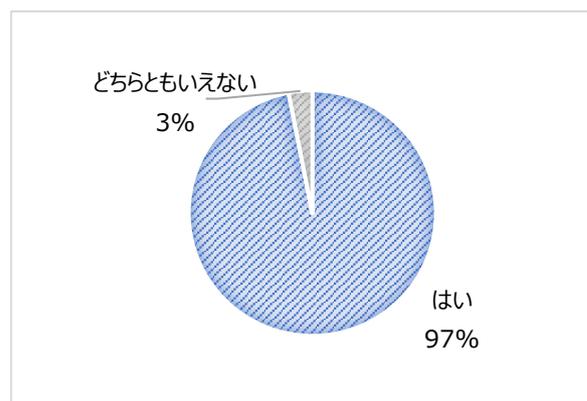


図 10) GW で発言はできたか (n=65)

1) 今回のグループワークに関する感想・意見

1. 楽しかった 病院の規模や機能別に分けていただくと悩みの共有がしやすい。
2. 特にありません。
3. グループワークのお題がむずかしいと思いましたが、グループ内で意見交換ができてよかったです。
4. 同じ地域の方と色々な意見交換ができて良かった。
5. 地域ごとのグループ分けになっていてとても良い交流になりました。
6. 他施設での問題や課題を知る、貴重な機会でした。
7. 他病院での対策など聞く事ができて、参考になった。
8. 他院の取り組みなどを知ることができ、参考になります。
9. グループワークの中ではチーム作りのさまざまなルールや新人指導、院内院内研修などを常に工夫して実施を試みていたが過酷な忙しさの中で極めて難しい指導になっていた。Z世代を含めた指導は多様性のあるリーダーを作り出さないと上手くは行かない事が理解出来た。
10. 同じ地区同士で、話し合える機会をいただき、同じような境遇の仲間がいることで、心強い、1人じゃないことが実感できました。
11. グループ回との距離感が近い、マスク越しなため、グループワーク中の声が聞き取りづらかった。
12. 近隣の施設と交流が図れて良かった。他の地域とも交流が深められるとさらに良いと感じた。
13. 他施設の現状や取り組みについて知ることができました。
14. 地区ごとで、医療安全担当者になって年数も少ない方が多かったので、疑問点や活動内容などから、話すことが出来たので今後活かそうです。
15. 他院の情報が得られました。
16. 近隣の施設の方々と顔合わせができ、情報共有もできて有意義でした
17. いちスタッフとして参加しました。周りの皆さんは、職種取得されており、知り得なかった大変多くの情報を得ることができた。まだまだわからないことがあったので、また参加したい。

18. 病院間でのグループワークは今までなかったので、悩みなど話すことができ、同じように思っていることがあったので安心できた
19. 他施設の方の意見を聞くことが出来る機会は、大変学びになりました。
20. もっと時間が欲しかったです。
21. 看護管理者と医療安全委員を担っていると、病院内で孤独に感じることも多く、他院の医療安全を担当されている方々との情報共有は貴重な機会だと改めて感じました。また、権威勾配は、私も周りのスタッフや部署の方に、感じさせていないか相手の立場を考えて、発言することにより一層意識しようと考えさせられました。
22. GW 内での時間管理が不足していたとも思えますが、貴重な他施設の医療安全担当者との交流の場でしたので、可能ならばGWの時間をもう少し確保していただけたらと考えます。他施設の情報を得ることもでき、悩みを共有できた時間でした。ありがとうございました。
23. 午後もGWしていただきたく思っています。
24. 近隣病院だったので、規模の理解は出来ており、コミュニケーションは取りやすかったです。
25. 同じ地区の同規模の施設の医療安全管理者と交流を持つことができ良かったです。
26. 「診断の質」というテーマに対し、少々かしこまってしまった感があり、狙い通りのワークができなかったため、上記評価といたしました。
27. 近隣の医療施設の医療安全の状況がわかった 意見交換ができ、施設の機能や規模、役割は違うが、医療安全の考え方は共通であることが分かった。お互いに困っていることなども話すことができた。
28. 医療安全管理者研修を受講したばかりで、ほぼ未経験でしたが、他施設の方々の取り組みなど、様々な情報を聞かせていただけたので、有意義な時間になりました。ありがとうございました。
29. 他施設の方達の問題を聞け、また対応方法を聞く事ができて参考になりました。
30. 同じ地区で対話ができることは有意義でしたが、違う地区の方とも交流できるとさらに良かったです。
31. 他施設の方々と共有できて良かったが、話し合いの時間が足りなかった。テーマ以外にも、各施設の問題点や課題について話し合いができると良かった。

IV. 医療安全担当者中央交流会について

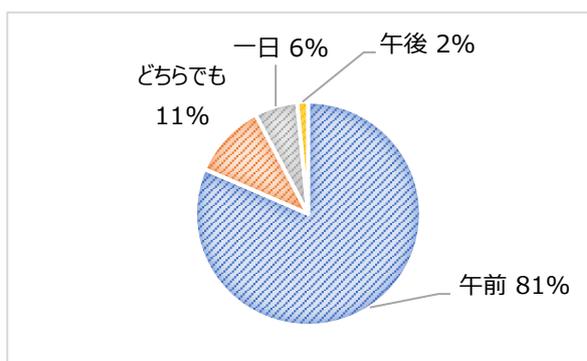


図 11) 交流会開催時間について (n=65)

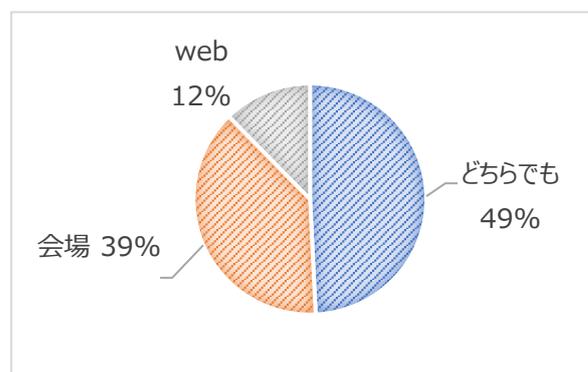


図 12) 交流会開催方法について (n=65)

1) 次回の医療安全担当者中央交流会について意見・要望

1. グループ編成の地域別は親近感が湧いて面白かったですが、事前課題の近いモノでの編成も面白いのかなと思いました。
2. 9月の理由をお話しいただきましたが やはり暑い千葉みなとはつらい…
3. 医療安全業務を行う中での情報交換の時間があるといいな。と思いました
4. 参加したほとんどの施設は、医療安全管理者が出席しているため、土曜開催は仕方ないと思うが、できれば平日に開催してもらいたい。自己研鑽にもなるが、他の交流会同様、仕事とし参加したい。(施設によって勤務扱いとそうでないところがあるのは仕方ないとは思いますが、開催側からも働きかけてほしい)
5. 「診断の質を改善する～チームで取り組む」 貴重な学びをありがとうございました。
6. テーブル（グループ）だけの交流だけでなく、こういうことを聞いてみたい、困っているというようなことを情報交換できるような時間が持てると有意義ではないかと思えます。
7. 様々な施設背景もあるかと思いますが、「身体拘束最小化」の取り組み等について聴講できると嬉しいです。
8. また参加したいと思えます。
9. 各地区の医療安全管理者とディスカッションできる機会や今後の交流に繋げられるような時間があると嬉しいです。
10. テーマを決めた取り組み事例の発表を講義の時間を使って行ったらどうか。
11. 研修に行ってくれと看護部長に言われ行きましたが、あとからこの内容は研修扱いにならないと言われました。私は医療安全担当者ではありませんが 医療安全担当者のみを対象者にする研修会にするとか、交流会という言い方を考えてもらいたい です。有給を使ってまでいくものではなかった。
12. 継続してよろしくをお願いします。
13. コロナ禍は交流会が対面で出来ず 1人医療安全の施設にとっては辛かったのですが、他の施設の方の情報が得られる機会を頂き助かります。
14. 出席用 QR コードの読取をいつのタイミングでするのかわかりませんでした。指示があるまで待っていた方がいいのか？と思い、確認もしなかったのが悪いのですが、何かしらのアナウンスがあったらありがたいと思いました。
15. 今回のスケジュールがとても良かったので継続してもらえたら助かります。
16. 患者安全の日を自分自身が忘れず、そしてスタッフに伝えて理解をってもらう為に、是非9月の開催をお願いしたいです。
17. グループワークを通して交流会で他施設の方と意見交換できたことは良かった。もう少し実務レベルでの意見交換がしたかったが、地区ごとに分けられていたメリットも感じたが、職種が異なり問題点が違った。研修の日程を世界患者安全の日に合わせて開催したと聞きました。他の研修やシンポジウムにも参加したかったので、三連休中の開催の調整が難しかった。 有意義な研修でした。ありがとうございました。
18. 連休以外の日程で開催していただけますと、大変助かります。